



の国の貴族出身の士官達の結婚申込を全部退けて、極東の一貧乏国―の広瀬武夫と言う背も高くない顔の黄色な一士官に愛を捧げた。日露開戦となり日本海軍は海上戦闘で勝ち続けたがロシアの東洋艦隊が旅順港に逃げ込んで出て来ない。そここうするうちにバルチック艦隊が決戦を挑もうと日本海に向けてヨーロッパを出港した。乃木將軍が旅順港を陥落させようと猛攻を加えたが一向に攻略出来ない。日本海軍としては旅順港内のロシア艦隊とバルチック艦隊が一緒にあって海戦を挑んで来たら大変なので港の入口を塞いで東洋艦隊が外洋に出撃出来ないようにしようと考えて、港の入口に貨物船を沈めて港口閉鎖を行うことにした。港口に近づけば至近の距離から陸上砲台が狙いうちしてくるのでこの作業は危険この上もない。そこで決死隊を募って敢行することとなり広瀬武夫が貨物船の福井丸の指揮官として港口に進入し船を爆破してボートに乗り移ろうとしたら部下の杉野兵曹長が見当らない。刻一刻沈みゆく船内を隅なく探したが、たまたま飛来した砲弾が命中して広瀬武夫はボートの中に一片の肉塊を残して壮烈な戦死を遂げた。この知らせがロシアにも届き、これを聞いた件の令嬢は驚きと悲しみの余り気を失ってその場に倒れ、彼女とその一族は以後一年間敵国の海軍将校である広瀬武夫の為に黒い喪章をつけて離さなかったと言う。これは何も広瀬一人に限ったことでなく当時の明治の人達は自分のこととして国を考へ、自分の肩に日本を背負って勉強し仕事をしていた。

今日の日本はどうか？

日本を訪れた心ある学者や評論家は日本のごときを「背骨のない巨人」と言う評論家ノーマン・カズンに更に続けて「何と空しい繁栄であることか私はこの種の繁栄をアメリカが将来望むならば真平ご免だ。日本人は戦後20数年間、物と金をあくせく求めた代償に精神と魂を全部売払ってしまった憶病な脊椎のない巨人だ」と評している。

我々はこの目に見えない背骨をどつしりと民族、国家の中に裾え直す必要がある。こう言う作業の為の一つの取かかりとして防衛、経済、文化の問題を考えなければならぬ、しかし何といても手つとり早いのは防衛の問題である。

地理的条件からみてとてもない戦争は起らないと思うが、若し起った場合誰がこれに対処するのかと言うことを考えなければならぬ。このような気概を持っていないならば、つけ込まれて何が起るか分らない。社会党は非武装中立を称えているが、私は先日テレビ対談である若い社会党員に「日本に内乱が起るか

も知れないではないか」と言ったら「内乱がどうして日本に起るのだ」と言った。私は北朝鮮に敵意は持っていないが、北朝鮮の憲法第12条第3項に「精神障害者と親日分子は公民権を剥奪する」としてある。このような憲法を制定しているのは世界中で北朝鮮だけです。その朝鮮のエリート教育する大学の設置を美濃部東京都知事が認可した。この憲法によつて育てられたノド達を抱えていて、日本国内の状況が非常に悪くなったときに何が起るかはや予測し難い。

不測の事態を未然に防止する為に我々は先ずこの国の問題は自分達で処理するのだと言う強い自覚を持たなければならぬ。防衛の問題についても然り、私は今日本の憲法を早急に変える必要はないと思うが、憲法を歪めて解釈している人達がいる。

そしてそれが恰も日本の良心であり、進歩的文化人であり、インテリであるかの如く錯覚している多くの日本人がいる。

オリンピッククマソンの円谷選手が自殺した。陸上競技でたった一人、あのメインスタンドに日章旗を掲げた円谷選手が何故死んだのか？日本人の憲法に対する間違つた解釈が殺したと言える。自衛隊を日陰者にしていて日本人の考え方に原因する。走れなくなつても国を守ると言う職務にブライドを持つていたら、立派な将校として余生を送ることが出来たと思う。日本人の自衛隊観が誤つていなければランナー以上の優れ

た将校になつていたかも知れぬ。円谷を殺したように我々は自分自身の中にある色々なものを殺しつつある。これは直さなければならぬ。政治家、経済人学者がやるのでなく我々一人一人が自分の頭で考えてこの国の問題を処理するのだと言う自覚を持たなければならぬ。

特に若い日本人がこの自覚を持つて他人をも説得して同じ仕事に引く張る必要がある。この自覚がなければ日本の防衛問題は何時までもたつても解決されない。いくら経済が発展しても、日本は背骨のない憶病な巨人として「なまこ」とか「タコ」のような存在で21世紀を迎えることになると思う。

私はこんな事は真平だ。物を書く人間として10数年やつて来たが、私は小説家や芸術家である前に一人の日本人です。

そこで政治を直すことで実現したいと思ひ、政治に参加しました。最初のうち私は自分の考へていいることが一人の考へ方で孤独で悲憤な戦をするのではないかと自惚れていたが日本中を歩いてみて私よりもっと見識のある、もっと行動力のある、もっと勇氣のある青年が多数いることを知つた。今日もここに來ている。そういう人達と一緒にもっと大きな仕事をやり度いと思う。

か、抵抗が多過ぎて何も出来ないと言つていても何もならない。

◎忍耐と勇氣をもつて

私が政治という未知の領域に踏み込む為に色々な原因がありました。その一つに6年前、日生劇場を弘世日生社長、五島東急社長と言う先輩の力をお借りして経営して來ました。当初左翼の連中から資本家の犬と言われましたが、その非難した左翼の人達・左翼の劇団が現在日生劇場を使つて一番利益をあげている。そして演劇界に一つの変化・進歩が起きた。この演劇の世界の中で起きたことは政治の世界でも、日本全体でも起り得ると思う。資本家の犬と言われ乍ら若いう、6名のスタッフが営々として努力し今日に至つたが、こんなことは些細なことである。日本全体をこのよう

に変えて行けると思う。現代日本の文学は挫折した、暗いジメジメした青年像しか描けないし私自身混沌とした混乱した青年をしか描いて來なかつた。これではこの日本、この民族に志ある人々の心を捕えることは出来ない。強い行動力と説得力のある人間を文学の中で描く為にも、私自身が言う人間にならなければならぬ。私はこういつた同志が数多く存在することを発見した。

かつて私は或る大きなオペラを委嘱されたので考えた末、特攻隊を描かうと思ひ薩摩半島の南端の知覧という特攻基地を訪れた。日本人の物の考へ方、特異な型ではあるが祖国に対する一つの姿勢を顕著に出した

特攻隊をオペラに残そうと思つて……。知覧の町で鳥山トメさんという特攻隊の母と呼ばれた一老婆に会い数多くのエピソードを聞いた。数多く語つてくれた美しい物語の一つに次のようながある。

特攻出撃は秘密なので家族にも知らされない。しかし母と慕つていたトメさんだけには「明日出撃します。お世話になりました」と

告げて別れて行つた。特攻機の出撃する頃、飛行場を囲つた鉄条網の側に行きトメさんは手を合せて見送つた。そういった特攻隊員の一人に「明日は沖繩の海で死にますがきつと螢になつて帰つて來ます。僕の国は後の名所で僕は螢が大好きだ」と言い残して行つた若者がいた。彼が出撃した夕方、井戸端で仕事をしていたら傍の藤棚の下から冬だと言ふのに一匹の大きな蜜が飛んで來た。「こんな季節に」と思ったがハツと「螢になつて帰つて來る」と言われたことを思い出した。中に居た隊員に知らせ、皆で合掌するうちに頭上を旋回した螢は、川の対岸の彼方に消えて行つた。(中略)

このような話の中で私が一番感動した話を述べます。それは南海に散つた人達でなく生残つた西森と言う中尉の話です。学徒動員中知合つた女子学生と愛し合うようになり彼女の両親に結婚の許可を求めたところ、特攻隊員と知り乍ら「軍神の妻となれ」と言つて許してくれた。当時の特攻機には半数位故障の為引返してくるのがあつた。西森中尉の出撃も故障の為3

回も引返さざるを得ない破目となつた。そして第4回目の出撃を明後日に控えた日に戦争が終結した。終戦後の混乱した時期に妻ともその両親ともうまく行かなくなり、戦後10年近く不幸な結婚生活を送つたと言うことです。戦後トメさんは二人の孫の手を引いて毎日曜日花と線香を持つて飛行場跡に詣でていた。その飛行場に年に二度、彼岸の中日に西森中尉が花と線香を持つて現れ、雨が降ろうが風が吹こうが地面にどつかとあぐらをかき、腕を組んだまま一日中空を見上げていた。これが8年間続いた。トメさんは「あんな叶人きりな氣の毒な人はない、何も出來ない人だ」と諸々として語つた。正にその通り、こんな孤独な、絶望した、疎外された、そして暗いどうにもならない人間は現代の小説家が描くことは出來ない。彼は軍神として生き乍ら死に、戦後軍神は馬鹿と言われ、混乱の中で8年間も死に乍ら生きて行かねばならなかつた。これに比べたら社会の壁が厚いとか、大人は理解がないとか言うことは問題にならない。

私は昨年カメラを持つてベトナムに行き激しい戦斗を見て來ましたが、その為帰国後伝染病を患ひ、生れて始めて半年病床に伏した。「参議院選挙に出る」と言つたら医者から「肝臓の伝染病を患つた者は一年間絶対安静を必要とする、責任を持てぬ」と言われた。選挙に待つたはなし。桶狭間に向つた信長のように「死ねや死ねや」と言つて

(3面に続く)

選挙を戦い抜き、お蔭様で望外の成果を得た。西森中尉に比べたら私の冒険なぞ些細なもので、若い人達が何かやろうと思えば必ず出来る。決して道は塞ぎつていない、忍耐する勇氣のあるなしの問題である。国や社会は大き過ぎると思うかも知れぬが、一人でも若い人がこの国や社会を自分が動かすのだと言う自覚を持てば国は動いて来る。自分がこの国、この社会を処理するのだと言う自覚を、この

停滞した中で若い人達が持つことを願って止まない。
◎日本の防衛について
こういった自覚の上に日本の防衛の問題を考えた。
「戸締り論争」経済力相応の防衛力論」のような単純な議論でこれからの日本の防衛は考えられぬ。日本だけでなく世界各国の防衛が、今迄のものと違ったパターンを持つようになつた。例えば核と言うものが加わって来ている。内乱、

上陸侵攻して来た相手に対しては通常兵器を持つ必要がある。しかし核時代の今日、核に対応する防衛力をもたねばならぬ。先日週刊紙を見たら私が「徴兵制度をひけ」と言ったように書いてあったがそんなこと一度も言ったことはない。今の自衛隊で結構と思う。ただし誰もが胸を張って自衛隊を志願する精神的な基盤を作り、もう少し数を増すだけで充分である。(後に「自衛隊は国軍である。」と

云い変えている。)それよりも我々は根本的な本質的な防衛力を育てる必要がある。それは核の技術だと思ふ。米ソの開発した核兵器の競争に日本が追付くには何十年もかかる。ソ連が宇宙衛星に核を搭載する技術を開発すればアメリカはABMといった防禦組織を作りこれに対処する。この衛星に核兵器を取付ける技術は平和利用の名目でも出来る。米ソ西独等諸外国は内浦で試みられた日本製の

宇宙衛星に注目していた。追つき追抜かれるのを恐れた、当の日本人だけがそっぽを向いている。フランスが第3番目の衛星を打上げたが技術は殆んど米からの借物であつた。純日本製の宇宙衛星が成功すれば実質的に日本は3番目の国となる。日本には多くの秀れた科学者がいる。
このような科学者の研究開発の仕事に力を入れて民族的国家的なものを発展させなければならぬ。高速増

殖炉のようなものを各国に先駆けて完成し全産業のエネルギーの供給を一手に供給することも20年以内出来る。或る意味でこれからやって来る文明のイニシヤティブを日本がとることが出来る。
「日本独特の文明を外国に輸出する」これが積極的な防衛と思う。核の技術がどこまで来ているか自身の頭で考えて欲しい。そして我々の「こうすべきだ」と言う声を政治に強く

反映させなければならぬ。国民の強い意見はどの政党でも無視出来ない。我々は将来に対する防衛も含めて大きなビジョンを抱いて、政治家、学者、経済人に我々の設計図を示し、実現を要求しなければならぬと言う自覚を、特に若い人に持つていただきたい。それがこの日本を21世において防衛し、ある意味で平和の力で日本が世界を席捲する最大の基調になる。と信じて止まない。(拍手)



連載エッセイ
夕暮れの街 その94
新渡戸稲造・武士道 ⑧2
M&Uスクール学長 梅谷 忠洋
(フルート奏者・「おもいで酒」作曲家)

皆さんは日曜日の夜放映されている「ナニコレ珍百景」という番組を一度はご覧になったことがあると思います。驚くような映像のバックにフルオーケストラの演奏で流れるあの曲名を皆さんはご存じでしょうか。あの荘厳な曲は、ロシアの作曲家モデスト・ムソルグスキー作曲のピアノ曲「展覧会の絵」より、キエフの大門です。このピアノ一台のために書いた曲をフランスの作曲家で、「ボレロ」の作曲で有名なモーリス・ラヴェルがその壮大さに感動し、あの様に興奮するオーケストレーションをしました。
実際にキエフにこの楽曲に描写されているような大きな門(多分凱旋門)はないようですが、ムソルグスキーは、キエフの大門を、感動的にこの「展覧会の絵」の終曲に用いました。

また、キエフと言えば昨今お騒がせなビッグボスことロシアのプーチン大統領が今まさに侵略
しているウクライナの首都でもあります。また国の北方(キエフの北130km)には、36年前、未曾有の原発事故を起こしたチェルノブイリ(苦艾)原発があり我々日本人にもその知名度だけはたいしたものですね。
しかし、ウクライナといえは世界的に最も有名な出来事は今を去ること170年前に起きたクリミア戦争でしょう。この戦争は帝政ロシアに対するイギリス、フランス、トルコの戦争です。しかしこの戦争が有名になったのは、何といてもイギリスの看護師で近代看護教育の母と称されるフローレンス・ナイチンゲールの勇氣ある言動でしょう。
一看護師であるにもかかわらず、敵味方の区別無く治療をするナイチンゲールに「味方から助ける!」と指示を出した将校を相手に、毅然と以下方が進歩し続けない限りは退歩していることになるのです。

進歩のない組織で持ちこたえたものはありません」
▼プーチン大統領は正気なのか?
彼の地で、現在大変なことが起こっています。ご存じのように、私から見れば破落戸にしか映らないロシアのウラジミール・ウラジミロヴィッチ・プーチン大統領のイチヤモンです。
侵略については、ウクライナがNATO(北大西洋条約機構)に取り込まれる危惧に端を発していることを理由にしていますが、どこから考察しても現代の社会からは論外です。
プーチン大統領は幼少期から普通の子供ではありませんで、戦争は帝政ロシアに対するイギリス、フランス、トルコの戦争です。しかしこの戦争が有名になったのは、何といてもイギリスの看護師で近代看護教育の母と称されるフローレンス・ナイチンゲールの勇氣ある言動でしょう。
一看護師であるにもかかわらず、敵味方の区別無く治療をするナイチンゲールに「味方から助ける!」と指示を出した将校を相手に、毅然と以下方が進歩し続けない限りは退歩していることになるのです。

「プーチン大統領はウクライナだけに宣戦布告した訳ではありません。彼の目的は、第一にウクライナをロシアあるいは新ソ連帝国の地域にする事です。第二の目的はウクライナを全滅させることです。そして、プーチンは、日本を含む西側諸国に対して宣戦布告をしたのです。信じて下さい!
次は近隣諸国を攻めます。ポーランドやバルト三国です。あるいは、あなたの国かも知れません。どうかプーチン大統領を信用しないで下さい。これが八年間ロシアの侵害の中から我々が学んだことです。ウクライナが自由で民主的な独立国家であるということが理由でプーチンは、ウクライナを罰したいと思っているのです」
▼「征韓論」について
さて、この真價はやがて判明するでしょうが、このような物騒な話題が飛び交うと、幕末の英雄・西郷隆盛公が唱えた「征韓論」を私は想起します。

幕末のある日のことです。庭番をしていた西郷吉之助(隆盛)を当主の島津斉彬は、自室に招き入れ、一服の茶を淹れて自分は所用のために、ほんの暫しの間部屋を留守にしました。その間、疑問と好奇心に溢れた吉之助は、斉彬の部屋にある珍しい品々を自ら手に取って具に検証してゆきました。そんな中で吉之助の目に留まったのが地球儀でした。物珍しそうに地球儀を眺めている吉之助に、斉彬は
「その一番大きな水色の所が太平洋じゃ。そして我が国日本はその少し上の赤い色に塗られた所。そして、そのもう少し上の方にるのが支那。もっと上に位置するのがロシアじゃ。こうしてみれば我が国日本は小さい国じゃのう」私は大西郷の心にはこの時「征韓論」のアイデアが湧いたと思うのです。
本来は、地球儀に傾注集中するのが筋ですが、そんな常識は天才西郷には通じません。斉彬公の解説を他所に、彼の脳裏には「この地球上で最も広大な領土を持つロシアが南下し、日本海を蹂躪したら我が国などひとたまりもない。それを許さないために、朝鮮半島を防衛ラインにしてロシアの南下阻止

を図る以外に日本を護る道はない」と直感したのです。
それに、私たちは現在高校の地理の授業で世界地図を見る時、メルカトル図法で描かれたものを見えています。この地図の弱点は、緯度が高い位置にある国(ロシア)ほど、広大な領土を所有しているように描かれまので、目の錯覚も手伝って、ロシアに対する脅威は尋常ではありません。実際地球儀で見ると世界一の広大な領土に間違いはありませんが、それは敵対する我々からの視点であつて、実際に不凍港(一年中凍ることのない港)すら確保できないロシア側から見れば、役に立たないツンドラ地帯がいくら広大であっても、それは無用の長物です。
現に今迄、ロシアが問題を起こす地点は、極東では旧南満州(日露戦争の戦地)。ヨーロッパ側では、今回プーチン大統領が紛争の火種になっている黒海の北端にあるクリミア半島以外にありません。
▼リーダーの氣質を育てる風土とは
しかし、彼の国の歴史や国状、指導者の性質などを研究してゆくとプーチン氣質は今に始まったのではないことが分かります。まるでヒットラーが平然

と「条約は破るためにある!」と嘯いたように、人間関係を疑心暗鬼にするような態度をとってきました。
第二次世界大戦勃発の初日(1944.9.1)、ナチスとロシアは事前の打ち合わせ通り一氣にポーランドへ雪崩入ったのに始まり、我が国に於いても、終戦のわずか一週間前に日ソ不可侵条約が締結されていたにもかかわらず、一方的にそれを破り、当時のプーチンヨシフ・スターリンは、各国首脳に平然と「日露戦争の報復だよ!」と言つてのけたと聞きます。約束を守らない人間は、もはや人間ではありません。何故なら、人間同士は約束事を守ることに信頼や信用を確信するようになってくるからです。
残念ながら、彼の国には日本の武士道、アメリカのフロンティア精神といった人間同士の「信」に関わる文化は育たなかったようです。これも気候風土、人間氣質、国状、近隣諸国との関係など諸要因が関係していますが、これだけ長い間、指導者の文化、といつてよくらい陰湿な人間(リーダー)が輩出されるのには、そこに深い理由があるのでしょう



日本の未来を担う若者よ来たれ！ 令和4年度自衛官等採用案内

種 目		資 格	受付期間 (締切日必着)	試験期間
幹部候補生	一 般	22歳以上26歳未満の者 (20歳以上22歳未満の者は大卒(見込含)、 修士課程修了者等(見込含)は28歳未満の者)	①3月1日 ～4月14日 ②3月1日 ～6月16日 (飛行要員除く。)	①1次:4月23日・24日 2次:5月27日～6月2日 3次:(海・空飛行要員のみ) (海):6月23日～27日 (空):7月16日～8月4日 ②1次:6月25日 2次:8月1日～7日
	歯 科 薬剤科	専門の大卒(見込含) 20歳以上30歳未満の者 (薬剤科は20歳以上28歳未満の者 ※1)		①1次:4月23日 2次:5月27日～6月2日 ②1次:6月25日 2次:8月1日～7日
医科・歯科幹部		医師・歯科医師の免許取得者	①2月1日 ～6月10日 ②8月1日 ～10月28日 ※2	①6月24日 ②11月18日
技術海上幹部 技術航空幹部		大卒以上の者で、応募資格に定められ た学部・専攻学科等を卒業後、2年以上 の業務経験のある者	3月1日 ～5月20日	6月20日
技術海曹 技術空曹		20歳以上の者で 国家免許資格取得者等		6月17日
航空学生		海:18歳以上23歳未満の者(高卒者 (見込含)又は高専3年次修了者(見込含)) 空:18歳以上21歳未満の者(高卒者 (見込含)又は高専3年次修了者(見込含))	7月1日 ～9月8日	1次:9月19日 2次:10月15日～20日 3次:(海)11月18日～ 12月14日 (空)11月12日～ 12月15日
一般曹候補生		18歳以上33歳未満の者 (32歳の者は、採用予定月の末日現在、 33歳に達していない者)	①3月1日 ～5月10日 ②7月1日 ～9月5日	①1次:5月20日～29日 2次:6月17日～7月3日 ②1次:9月15日～18日 2次:10月8日～23日 ※いずれか1日を指定 されます。
自衛官候補生		18歳以上33歳未満の者 (32歳の者は、採用予定月の1日から、起算し て3月に達する日の翌月の月末現在、33歳に達 していない者)	年間を通じて 行っております。	受付時又は各自衛隊地方 協力本部のホームページ にてお知らせします。 ※3
防衛大学校 学生	推 薦	18歳以上21歳未満の者 高卒(見込含)又は高専3年次修了(見込含) で成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績 を修め、学校長が推薦できる者	9月5日～9日	9月24日・25日
	総 合 選 抜	18歳以上21歳未満の者 (自衛官は23歳未満)	7月1日 ～10月26日	1次:9月24日 2次:10月29日・30日 1次:11月5日・6日 2次:12月6日～10日
	一 般	高卒者(見込含)又は高専3年次修了者(見込含)		
防衛医科大学校医学科学生		18歳以上21歳未満の者 高卒者(見込含)又は高専3年次修了者(見込含)	7月1日 ～10月12日	1次:10月22日 2次:12月14日～16日
防衛医科大学校看護学科学生 (自衛官候補看護学生)		18歳以上21歳未満の者 高卒者(見込含)又は高専3年次修了者(見込含)	7月1日 ～10月5日	1次:10月15日 2次:11月26日・27日
陸上自衛隊 高等工学校校 生徒	推 薦	男子で中卒(見込含)17歳未満の成績優秀 かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め、学校 長が推薦できる者	10月1日 ～12月2日	令和5年1月5日～7日 ※いずれか1日を指定 されます。
	一 般	男子で中卒(見込含)17歳未満の者	10月1日～ 令和5年1月6日	1次:令和5年1月14日・15日 2次:令和5年1月26日～29日 ※いずれか1日を指定 されます。
貸費学生		大学の理学部、工学部※5の3・4年次又は 大学院(専門職大学院を除く。)修士 課程在学(正規の修業年限を終る年の 4月1日現在で26歳未満(大学院修士 課程在学者は28歳未満)	6月1日 ～11月11日	12月3日
予備自衛官補	一 般	18歳以上34歳未満の者	①1月6日 ～4月8日 ②6月1日 ～9月16日 ※2	①4月11日～17日 ②9月25日～10月10日 ※いずれか1日を指定 されます。
	技 能	18歳以上で国家免許資格等を有する者 (資格により年齢上限は53歳未満～55歳未満)		

※1: ①学校教育法に基づく大学において、正規の業学の課程(6年制の課程に限る。)を修めて卒業した者(令和5年3月卒業見込みの者を含む。)
②外国の業学校を卒業し、又は外国の薬剤師免許を受けた者で、厚生労働大臣が①に掲げる者と同等以上の学力及び技能を有すると認定した者
③平成18年度から平成29年度までの間に学校教育法に基づく大学に入学し、4年制業学課程を修めて卒業し、かつ、学校教育法に基づく大学院に
おいて業学の修士又は博士課程を修了した者であって、厚生労働大臣が、厚生労働省令で定めるところにより、①に掲げる者と同等以上の学力
及び技能を有すると認定した者に限ります。
※2: 第1回で採用予定数を採用した場合、第2回は実施しない場合があります。
※3: 令和5年3月高等学校卒業予定者又は中等教育学校卒業予定者のための採用試験は、令和4年9月16日以降に行います。

女心の防衛論

「少子化対策」憂国論



大阪府立大学名誉教授 堀江 珠喜

「現代日本」の問題を一つ挙げ、ト課題に対し、数名のゼミ生が「少子高齢化」を選んだ。プロの政治家集団でさえ解決できない大テーマなのに、TVコメンテーターレベルのお粗末な内容ばかり。そもそも高齢化の原因は、私のようなシニアが死ななため。しかし、我々が死んでも、生まれる子供が増えるわけではない。少子化の原因は、子供を産まなくなったから。しかし、なぜ?という点で、一般に語られている意見と私の考えは少々異なる。

女性が産み育てやすい環境作り、経済的支援などなど、耳当たりの良い言葉が唱えられるが、それで対策になるのだろうか。そもそも若者の「価値観」が、従来とは異なっている。多くの夫婦が正規の職業を持ち、優雅なるDINKS状態は、とても快適だ。ならば「子供なんて面倒なもの」は欲しくない。「子供不要なら、結婚で束縛されるのも嫌!」「自分の時間とカネと空間は自分のために使いたい」という者も少なくないのが現状だ。つまりLDK独居が理想!との、おそらく保守勢力が理解できない次元に、

彼らは生きている。それはなぜか。1、「選択的夫婦別姓」議論で保守派が持ち出す「家制度」に鬱陶しさを感じ、結婚のメリットが認められない。2、アホなマスコミが、国家の大事より、芸能人不倫スキヤンダルを大きく報じるため、「結婚」への夢が感じられなくなった。3、テレビで、60、70年代は幸せな家庭を描いたホームドラマ、80年代は、既婚世帯を描いたオシャレなトレンディ不倫ドラマ、90年代はサスペンスと、人気ドラマが変遷し、家族の良さを伝える物語が激減。近年の流行は「ドクターX」、結婚や出産とは無縁の外科医、私、失敗しないので!わあ、カッコイイ!「独身貴族」なる言葉が生まれて久しいが、事実、正

規雇用独身者のバカンスは、ビジネスクラスで富裕層スタイルなのだ。ブランド物も自分へのご褒美として買える。彼らが、これほど短絡的人生を歩むのは、なぜか。先日、米(ハーバード)・中(復旦)・日(東大)の各学生6名ずつのオンライン討論会を視聴した。東大生全員が「政府を信頼できない」と言い、米学生の1人、当然ながら復旦大生全員は「できる」だった。そう、政府、国家が信用できない限り、安心して出産などできない。(ちなみにハーバードより復旦の学生のほうが、英語での発言にのびやかで、印象的。中国の教育は凄いの。いっぽう東大生は同時通訳を用いた日本語での参加のためか、内容にズレを感じた。将来も我が国のエリートに期

待できないと老後の不安が大きい。このように、少子化に歯止めがかからないなら、改めるべきは、数少ない若者の低収入で多くの老人を養わせるシステムだ。そこで以下は、私の「奇策」だ。労働者の経済的負担を減らすためには、取りやすいところから徴収。相続税だ。法律改正し、相続は配偶者と直系親族(実親、実子か孫)に限定。兄弟姉妹や養子へも遺産相続を禁止、国庫に没収。もちろん生前贈与は可能だが、その場合、課税は重い。私を含めて、子供なしの世帯は少なくない。我々の遺産がすべて国庫に入れば、悪くない話だろう。それが嫌なら、我々が生前に消費にすれば、それはそれで景気対策になる。少子化を嘆くより、大いに利用すべきなのだ。

能勢 伸之氏 プロフィール

(のせ のぶゆき)



フジテレビ解説委員、FNNプライムオン「日曜安全保障」MC

1958年生まれ、1981年早稲田大学第一文学部卒業(西洋現代史)、防衛・安全保障の取材歴が長く1990年米スミソニアン博物館で復元作業中だったB-29爆撃機エノラゲイ(広島に原爆リトルボーイを投下)の機体内部に入って取材。著書に「極超音速ミサイル入門」「極超音速ミサイルが揺さぶった『恐怖の均衡』」等多数

令和4年度会員総会 決定 ※

令和4年6月7日(火) 新阪急ホテル

議案審議
総会行事
記念講演
演題 「ウクライナ情勢と極超音速ミサイル」(仮題)
講師 能勢伸之(フジテレビ解説委員)
○出席お申し込みは同封はがきかFAXでお願いします。
大阪防衛協会事務局(T&F 06-6202-18284)

行事メモ

☆空自一般幹部候補生入校式(奈良) 4月4日(月)

●令和4年度理事会(文書決議)(大阪) 4月20日(水)

□大津駐屯地創立記念行事 4月29日(金)

□第3師団・千僧駐屯地創立記念日(伊丹) 5月15日(日)

□富士総合火力演習(東富士演習場) 5月22日(日)

●令和4年度青年部総会(大阪) 5月25日(水)

□中方音楽隊定期演奏会(西宮) 6月3日(金)

●令和4年度会員総会 ※(大阪) 6月7日(火)

●全国防衛協会連合会総会(東京) 6月9日(木)

☆航空自衛隊奈良基地祭(奈良) 6月下旬

新入会員

令和4年1月～3月(敬称略)

▽特別会員(2名) 推薦者名

☆(株)アイマードプロダクツ 白谷美知博(倉智英吉)

☆ダイビル・ファシリティー・マネジメント(株) 矢田豪男(園部俊行)

▽賛助会員(3名)

吉岡康雄(田島英雄)

丹元章(岡二郎)

鴨川益美(竹本三保)

▽普通会員(10名)

添田詩織(久野潤) 森陽子(伊藤允孝) 井上美南大地 本田昌子

中井千香子 伊東信久 以上大部順子 木村昭二 吉野宏樹 山西由治 以上木村彩)

事務局だより

○国内外とも激動の時代に新型コロナウイルス蔓延が収まらずさらに北京冬季オリンピックが突如ウクライナ侵攻という暴挙によってますます混乱の時代を迎えておりますが、会員の皆様におかれましては如何にお過ごしでしょうか?
○当協会は今年で創立58年目を迎えますが6月7日(火)令和4年度会員総会を実施します。皆様のご出席お待ちしております。令和4年度の自衛官等採用案内でも発表されました(上表)。一人でも多くの情報をお待ちしております。
○大阪防衛協会事務局
〒541-0041
大阪市中央区北浜3-15-19
淀屋橋ホワイトビル701号
T&F 06-6202-18284